

INDEX

01

2021年3月期第2四半期 業績概要

・自動車関連を中心に売上は落ち込むも、ハードディスクや光ファイバー、半導体向けハイテク関連が堅調に推移し、営業利益はプラス。

02

2021年3月期通期 業績見通し

・新型コロナウィルスにおける影響で先行き不透明ではあるが、受託事業の新規獲得や市場の回復を見込んで業績見通しは据え置き。

03

2021年3月期下期以降の取り組み

・顧客へ新しい価値を提供するための活動および当社の新たな取り組み。

01 2021年3月期第2四半期業績概要



01-1 業績概要

2021年3月期第2四半期の業績は、売上は減少も利益は前年を上回る。

2021年3月期第2四半期 業績サマリー

[百万円]	'20/3期 Q2累計	'21/3期 Q2累計	増減額	増減率
売上高	3,716	3,478	▲238	▲6.4%
営業利益	▲92	127	+219	-
経常利益	▲102	30	+132	-
純利益*	▲137	19	+156	_

^{*}親会社株主に帰属

(売上面)

売上高は光ファイバー、ハードディスク、半導体といったハイテク関連、 受託研磨が前年を上回った一方、新型コロナウイルスの影響を受け、自動車関連を中心に日本研紙製品の売上げが減少しました。

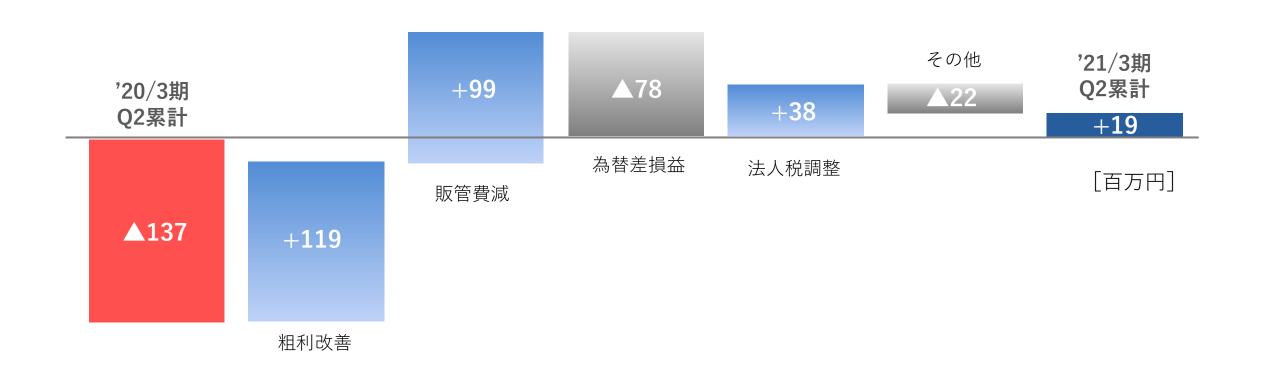
(利益面)

相対的に利益率の高い製品の売上高 構成が高まったこと、製造コスト低 減への取り組み効果および海外製造 拠点の集約による効率化もあり、利 益は前年を上回りました。



01-2 利益* 增減要因(対前年同期比)

相対的に利益率の高い製品の売上高構成比が高まったこと、および製造コスト低減への取り組み効果、海外製造拠点の集約による効率化により粗利が改善しました。 加えて販管費減などにより増収となりました。

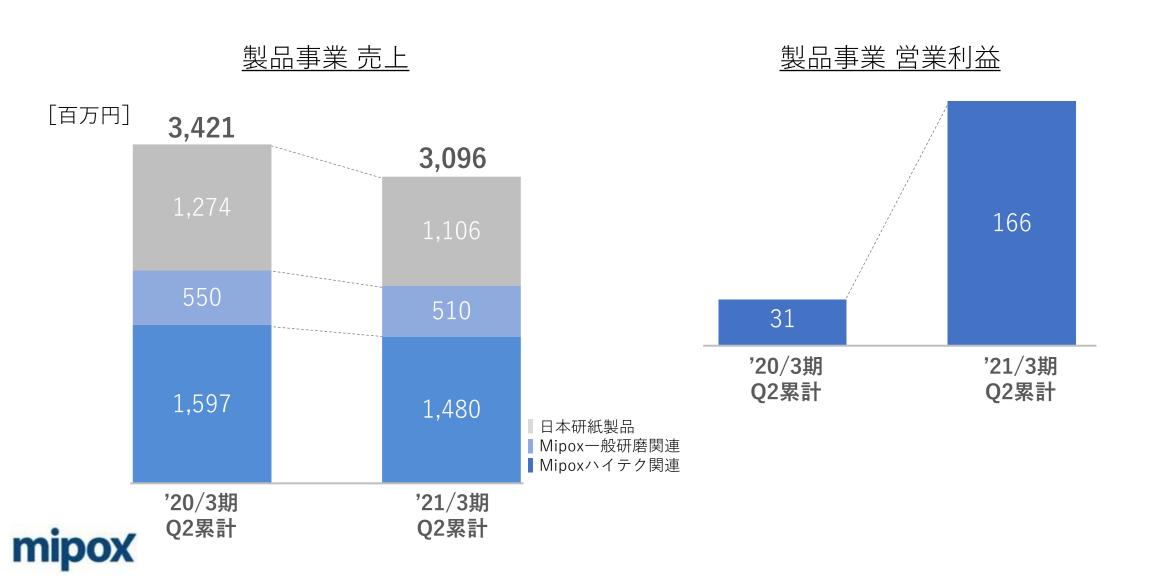




*親会社に帰属する当期純利益

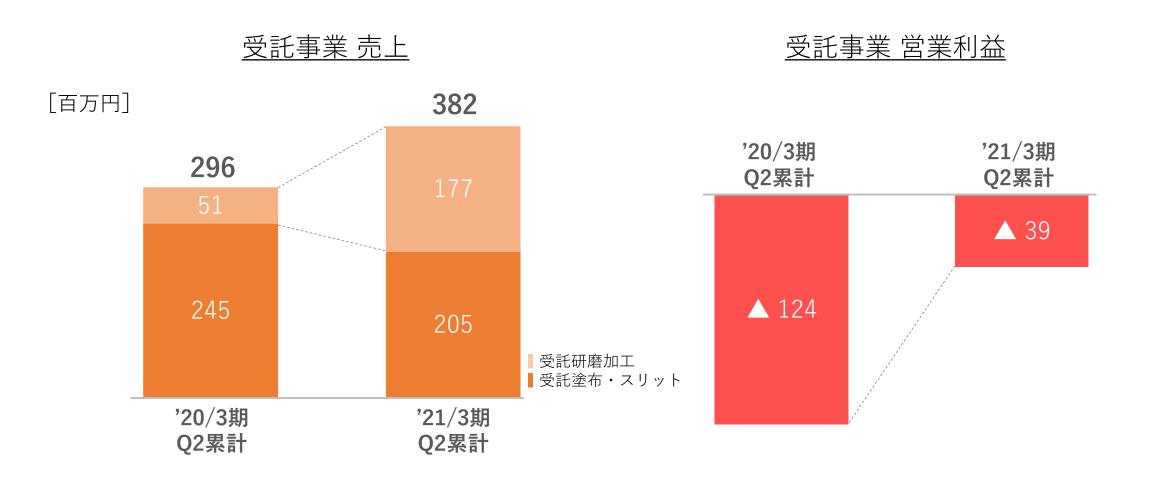
01-5 セグメント別業績 - 製品事業

全体的に売上は下がるも、利益は前年を上回りました。



01-6 セグメント別業績 - 受託事業

受託塗布の売上は前年を下回るも、受託研磨が好調で利益は改善しました。





01-7 貸借対照表推移

X	科目	2020年3月末		2020年9月末		一种	
分	作 日	実績	構成比率	実績	構成比率	増減	
資産の部	流動資産	7,157	64.9%	6,317	62.6%	▲ 840	
	うち 現金及び預金	2,737	24.8%	1,754	17.3%	▲ 982	
	固定資産	3,876	35.1%	3,773	37.3%	▲ 103	
	うち 有形固定資産	3,337	30.2%	3,353	33.2%	+16	
	うち 無形固定資産	120	0.1%	105	1.0%	▲ 15	
資産合計		11,033	100.0%	10,091	100.0%	▲ 942	
負債の部	流動負債	3,610	32.7%	3,142	31.1%	▲ 468	
	うち 短期借入金(社債含む)	1,491	13.5%	1,627	16.1%	+136	
	固定負債	3,315	30.1%	2,737	27.1%	▲ 578	
	うち 長期借入金(社債含む)	2,553	23.1%	2,161	21.4%	▲ 392	
負債合計		6,926	62.8%	5,879	58.2%	▲ 1,046	
純資産合計		4,107	37.2%	4,211	41.7%	+103	
負債純資産合計		11,033	100.0%	10,091	100.0%	▲ 942	
自己資本比率		37.2%		41.7%		+4.5%	
借入金合計		4,044		3,788		▲ 256	





02 2021年3月期通期業績見通し



02-1 2021年3月期下期の見通し

製品事業および受託事業ともに売上増の見通し

製品事業



- ・ハイテク関連は前年を上回る見通しで堅調に推移。
- ・新製品「スマートサンディングシステム」発売やOEM生産による売上増加を見込む。

受託事業



- ・受託塗布・スリット関連は新規ビジネスを開始し、ほぼ横ばいの見通し。
- ・受託研磨関連では次世代半導体分野を中心に堅調に増加する見通し。



02-2 2021年3月期通期 業績見通し

通期業績見通しについては据え置き

▶ 当数字は11/13時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。

[百万円]	'20/3通期 実績	'21/3通期 見通し	増減額	増減率
売上高	7,338	7,600	+262	+3.5%
営業利益	▲170	150	+320	-
経常利益	▲165	110	+275	-
純利益*	▲ 78	70	+148	_

(売上面)

ハイテク関連および受託研磨が売上を けん引し、前年以上の売上となる見通 し。

(利益面)

売上高構成の変化に加えて、製造コスト低減への取り組み効果および海外製造拠点の集約による効率化もあり、利益は回復する見通し。

^{*}親会社株主に帰属



03

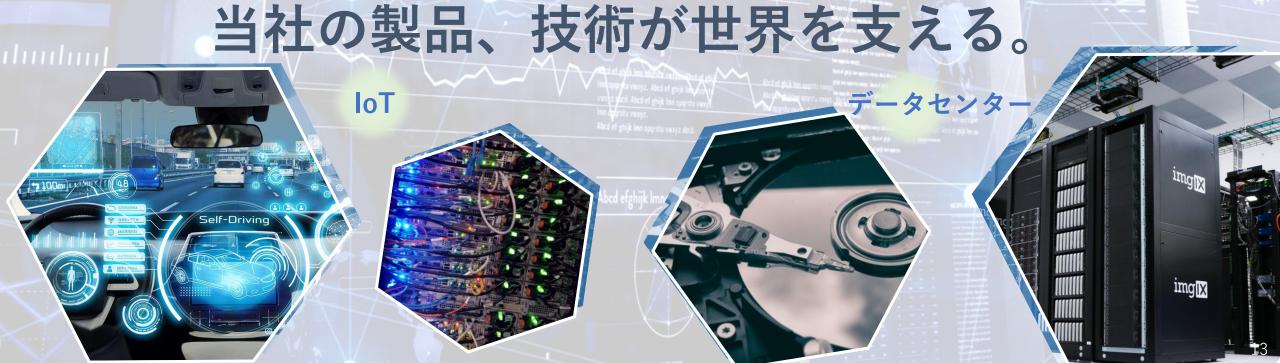
2021年3月期下期以降の取り組み



03-1 ハイテク関連分野



コア技術「塗る」「切る」「磨く」に新技術「観る」を加え、ハイテク分野への取り組みを強化していく

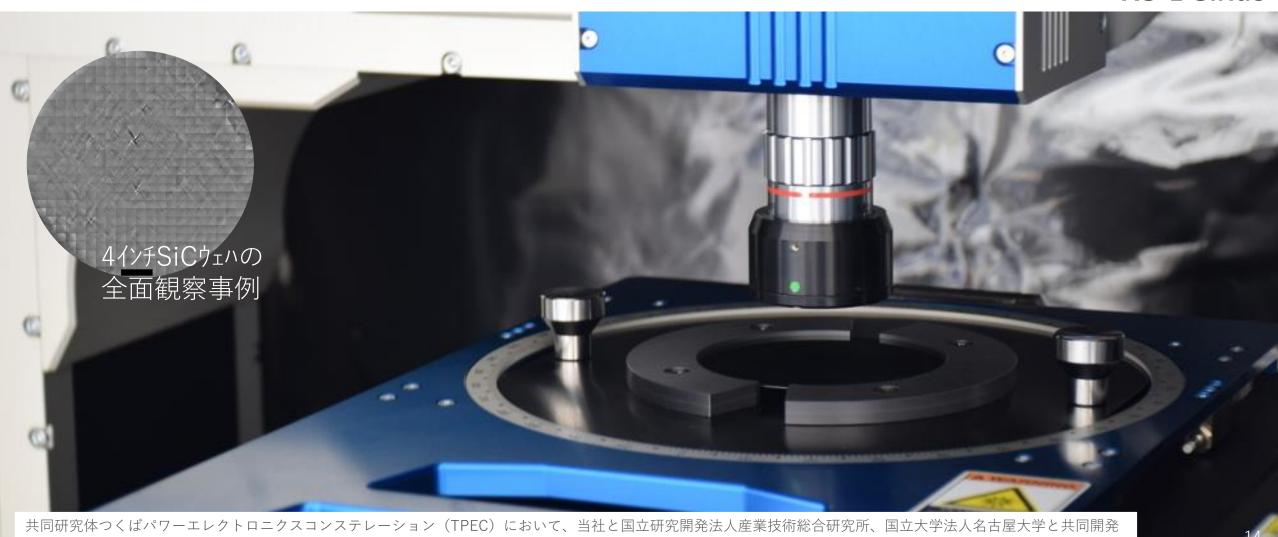


03-2 観る技術

世界最高レベルの転位可視化技術により、非破壊・高速高精度・ローコストで

結晶内部の転位の可視化を実現

XS-1 Sirius



03-3 スマートサンディングシステム

従来使用されている自動車補修工程の改善に向けて、研磨材メーカーの当社だからできる 技術提案でお客様に付加価値を創造します。









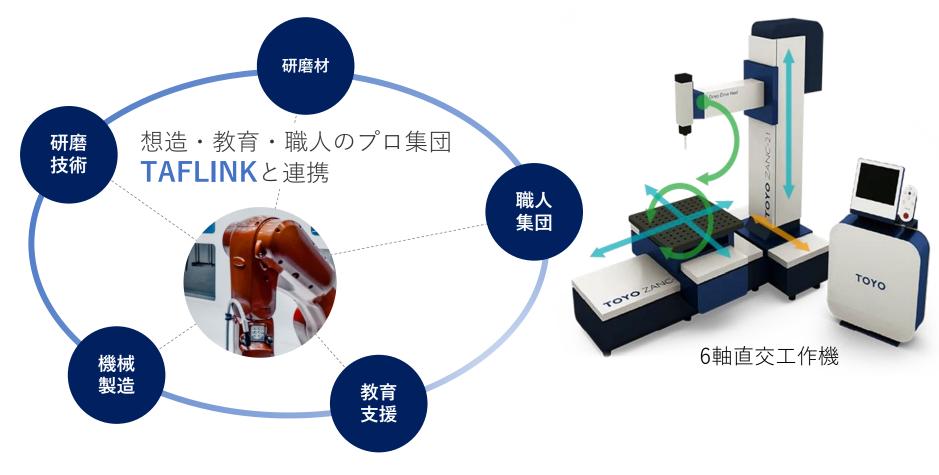


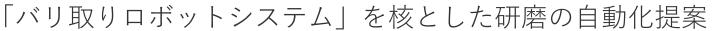
03-4 新規開拓-研磨の自動化提案

日本の誇る技術力と品質力を支える職人技の継承を支援するため、研磨材メーカーならではの視点で お客様に適した研磨の自動化提案を行い、モノづくりの未来を支えていきます。



多関節バリ取りロボット







03-5 新たな働き方への取り組み

時代の変化や流れに柔軟に対応しながら、多様なWorkstyleを選択できる環境を醸成し、従業員が

自律自走し、企業とともに成長できる環境づくりを目指しています。



コミュニティ型ワークスペース

[WeWork] **[Regus]**



Regus 平野町 共有スペース



共有スペース



塗る・切る・磨くで世界を変える

IRに関するお問い合わせ先

Mipox株式会社 社長室 泉澤 浩士

電話: 03-6911-2300

E-mail: mipoxir_dept@mipox.co.jp

http://www.mipox.co.jp/

https://www.facebook.com/mipox.japan/ https://www.instagram.com/mipox_official/

https://www.linkedin.com/company/mipox-corporation/









本資料における注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画、戦略などは、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、これらは経済環境、競争状況、 需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

